

はあとめっせーじ

第54号

発行／山梨県看護協会中北地区支部
発行責任者／小池 由紀恵
印刷／有限会社 クリップ



支部長あいさつ

はあとめっせーじ発刊に寄せて

独立行政法人 地域医療機能推進機構 山梨病院 小池 由紀恵

今年度より中北地区支部の支部長となりました小池由紀恵です。会員の皆様には日頃より地区支部の活動へのご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和5年度中北地区支部通常総会および記念講演が5月25日(木)に2年ぶりに制限なし集合開催することができ、今年度の地区支部活動が開始されました。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に分類されましたが、医療機関内では引き続きの感染症対応が余儀なくされている中、一般の人々の行動は制限がなくなり、開放的な気分を味わっているようです。

中北支部では、皆様の日々の看護に役立っていただけるような研修を企画し行っていました。講義を聞くだけでなく、その場で自身を振り返ることができるようグループワークを取り入れ活発的な意見交換が行われていました。現在次年度に向けた研修計画を立案しています。たくさんの会員の方々に興味を持っていただける活動をしていきたいと思っております。

Contents

- 支部長あいさつ 1
- 「一日まちの保健室」に参加して 2
- 看護功労者知事表彰受賞者紹介 2
- 看護職のための社会人基礎力研修会に参加して 3
- 看護管理者代表者会議に参加して 3
- 山梨県看護協会に入会しませんか 3
- 施設紹介・ペンリレー・編集後記 4

「一日まちの保健室」に参加して

令和5年9月23日、地域住民の健康を守り、いきいきと健やかに暮らせることができるよう「一日まちの保健室」を実施しました。

昭和町役場 大柴 芳恵

今年度の「一日まちの保健室」は、9月23日に開催された“RUN伴やまなし”という認知症をテーマにした啓発チャリティイベントに後援する形で行い、役員18名で参加しました。このイベントは認知症の人や家族、支援者、地域の人がりレーをしながら一本のタスキをつなぎゴールを目指します。今回は、甲府駅北口広場を起点にしたコースでタスキをつなぎました。

地区支部としては、甲府駅北口広場の一画に健康チェックや健康相談ができるブースを設けつつ、ランナーに救護として伴走。また協会からかんごちゃんの着ぐるみを借り、チラシを配布しながら看護の普及活動を行いました。

昨年度はコロナ禍で、支部の「一日まちの保健室」は中止だったため、私自身、役員となり初めての参加でした。様々な方と話をすることで、身近な専門職として看護師が認知されていることの実感も得ることができ、地域で地道に活動することの大切さも感じられる機会となりました。



受賞おめでとうございます。

中北地区支部から看護功労者8名、県民の看護師さん2名の方々が受賞されました。受賞者を代表し1名の方のメッセージを紹介いたします。



「看護功労者知事表彰」の受賞を受けて

市立甲府病院 小石川 好美

令和5年度 看護功労者知事表彰

内田 智美様	内田皮ふ科
長田 江津子様	甲府城南病院
神田 明美様	国立病院機構 甲府病院
小石川 好美様	市立甲府病院
小泉 夫美子様	山梨大学医学部附属病院
杉山 千里様	山梨大学医学部附属病院
深沢 久美様	山梨県立中央病院
堀 忍 様	公益社団法人 山梨勤労者医療協会

第28回 県民の看護師さん

夏目 康行様	山梨県立中央病院
堀井 悠 様	山梨大学医学部附属病院



令和5年5月12日第45回山梨県看護大会において、「看護功労者知事表彰」19名、「県民の看護師さん」5名と、24名の仲間とともに賞を賜りました。

40年間看護師として従事してまいりましたが、その間、看護・医療はめまぐるしく進歩し、人々の生活や価値観も多様化してきました。医療・看護を提供する者として「これでよい」と思うことなく、悩み、学び、喜びながら看護職としての日々を過ごしてきました。

この40年を節目として看護部長を辞して、看護師としてのセカンドステージを模索しているところです。これまでの経験、得た知識や技術、泣いたり笑ったりの看護師人生を振り返り、語り、やって見せることで、これからは看護師として少しでもお役に立つことができたなら、私の残りの人生も幸せだろうと思っています。これまで支えてくださった多くの方に感謝申し上げます。

Congratulations

Report

令和5年7月28日、31日、山梨県看護協会看護教育研修センターにおいて「看護職のための社会人基礎力」をテーマに研修が行われ、参加された櫻井励子さんから感想をいただきました。

令和5年11月29日、山梨県看護協会看護教育研修センターにおいて「看護管理代表者会議」として研修とグループワークが行われ、参加された新田妙子さんから感想をいただきました。

「看護職のための社会人基礎力」 研修会に参加して

地方独立行政法人 山梨県立病院機構 櫻井 励子

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、3年ぶりに集合研修を開催することができました。聖マリアンナ医科大学ナースサポートセンター長である高橋恵先生をお招きし、中間管理者と管理者のそれぞれを対象に「看護職のための社会人基礎力」をテーマに講義していただきました。

研修終了後のアンケート結果からは、「社会人基礎力は新人看護師に限らず、誰もが伸ばしていくべき能力である」「行動レベルで評価する視点があり、3つの能力と12の能力要素を指標に自分自身を見つめ直す機会となった」「フィードバック方法は、次の課題が見出せるような関わりが必要であると学んだ」などの回答がありました。同じ課題を持った看護師が集まり、対面で会話しながら進められたことで、満足度の高い有意義な研修となりました。各施設に戻り学んだ内容が発揮できることを期待しています。



「看護管理者代表者会議」に 参加して

甲府城南病院 新田 妙子

高齢化に伴い医療及び介護ニーズが高まる中、住み慣れた地域で生涯にわたり自分らしい暮らしを続けられるよう、地域包括ケアシステムの実現に向けて看護師の役割は大きくなっています。「想いのマップ」や「想いのノート」の情報提供と意思決定を支える看護師の役割と看護連携について、亀田医療大学 准教授 千葉恵子先生から講義をいただき、その後グループワークを行いました。

講義は、人生の最終段階での意思決定支援は、本人の価値観・人生の目標・将来の医療とケアに関する意向が家族や大切な人を含めて理解、共有されることで、変化に応じ繰り返し行われるものである。また、医療の視点、生活を支える視点の両側面からアセスメントし、何気ない会話の中にも利用者の意向が入っていることに気づき、多職種でのカンファレンスで合意を目指すことについて学びました。グループワークで自所属の体制づくりの課題と地域看護連携の重要性を再確認できました。



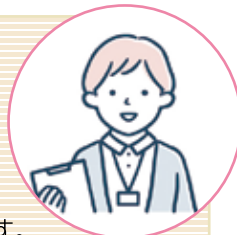
Yamanashi
Nursing
Association

看護職のあなたをサポート

会員特典いろいろ!

福利厚生サービスも充実!!

山梨県看護協会に 入会しませんか



山梨県看護協会は地域住民により質の高い看護を提供するための看護団体です。

県内の保健師・助産師・看護師・准看護師で構成する看護団体です。

看護協会は保健師・助産師・看護師・准看護師の資格があればどなたでも入会していただけます。

日本看護協会と山梨県看護協会(各都道府県看護協会)への同時入会となります。

詳しくは山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

<http://www.yna.or.jp>





施設紹介

今号では、利用者に寄り添いながら自分らしい生活が送れるよう支援している甲府訪問看護ステーションすずかけを紹介します。

利用者様が望む生活が出来る支援を目指して

甲府訪問看護ステーションすずかけ 松田 苗実

当事業所は、甲府駅から徒歩5分圏内にあり、甲府市を訪問エリアとして、東西南北、距離としては事業所から5～6km範囲を車以外にも自転車やバイク、時には徒歩で訪問しています。

現在、訪問看護師は10名所属し、170名ほどの利用者様がいます。若年層、高齢者、難病の方、医療依存度の高い利用者様や在宅看取りを希望される利用者様等様々な方の療養生活を24時間365日スタッフ一丸となって支えています。

同じフロアに、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所があり、身近な存在で日々連携を図る事が強みとなっています。甲府共立病院だけでなく、近隣の医療機関とも連携を図っています。

病気を抱えながら、在宅で生活する利用者様一人一人が出来るだけ自身の望む生活が送れるようチームで支えています。これからも、地域の方に信頼して頂けるようなステーションを目指して行きます。



甲府訪問看護ステーション すずかけ
住所：甲府市丸の内2丁目9番28号
勤医協駅前ビル4階
TEL：055-223-1975

「認知症初期集中支援チームの活動を通して」

市立甲府病院 山村 富子



元々病棟での勤務が長く、入院してくる患者様を見て「もう少し早く病院に来れば良かったのに」と思うことが多々ありましたが、その考えは浅はかでした。

数年前から甲府市の委託を受け認知症初期集中支援チームの一員として、認知症の疑いがある方に対して、医療・介護につなげられるよう支援を行ってきました。しかし、玄関先で追い返された事もあれば、関係性ができたとおもってもご本人が「嫌だ」と言えば、無理やり病院に連れて行くことも出来ず、病院を受診することの難しさを感じました。

それと共にご本人やご家族の思い、それを支える近所の人の思いなど、認知症の方が住み慣れた家（地域）で生活し続ける大変さ・地域の方の理解など、多くの課題があることを知ることができました。病院と地域の連携を図る上で、在宅側の思いを知る、貴重な機会を得ることが出来たと思います。



「感染管理認定看護師になって」

湯村温泉病院 幡野 江身子



感染管理認定看護師を取得し、1年が経ちました。当院は、回復期と療養のケアミックスのため、看護職以外の他職種が勤務しています。それぞれの職種の業務内容を理解し、組織横断的に現場で感染対策を指導するよう心掛けています。

その中でコロナのクラスターが起き、周囲の力を借りながら乗り越える事が出来ました。今はまだまだ力不足ですが、感染予防の大切さ、必要性をすべての職種にわかりやすく伝えられるよう、また、感染が起きた時には職員が不安にならないよう、的確な指示・指導が出来るよう日々精進していきたいと考えています。



編集後記

今年度5月に新型コロナウイルス感染症法上の分類が「5類」に引き下げられ、コロナ前の日常が少しずつ戻りつつあるのを感じます。コロナ渦で止まっていた研修会などを再び動かすには、大きなパワーが必要ですが、中北地区支部役員が一丸となり研修会やイベントが開催されました。レイアウトの都合上、全ての活動や写真を掲載できませんでしたが地区支部の活動により、看護職一人一人が専門職業人として更なる自立を目指していけるよう、職能を超えた連携を強化できるような活動が行われました。中北地区支部で活躍する看護職の皆様が中北地区支部の活動に興味をもち、一人でも多くの方に参加していただけるような会報誌となるよう努力していきたいと思っております。

一人でも多くの皆様の活動への参加と御意見をお待ちしております。

編集委員

- | | |
|------------------|-------|
| 市立甲府病院 | 井上 友美 |
| 山梨県立中央病院 | 矢崎 愛佳 |
| 湯村温泉病院 | 天野さやか |
| 甲府訪問看護ステーションすずかけ | 松田 苗実 |
| 甲府市役所 | 内田 枝里 |

